

# 例会は「MINAMATAーミナマター」

## 12月1日、加古川総合文化センター

今朝夕めっきり涼しくなり、紅葉も見ごろとなりました。

2か月も例会が伸びてしまい、何だか映画が恋しくなりました。

9月例会(8/31)の「ひまわり」、または「飛べダコタ」は、いかがでしたか。会員94名 一般160名 明石シネマクラブ3名の参加があり、アンケートは43枚集まりました。「飛べダコタ」の感想から…「18歳まで佐渡に住んでいましたが、この話は知りませんでしたのでビックリしました。」「ふるさとの懐かしい風景がみられてうれしかったです。」「あんな事実があったのを知らなかったからとてもよかったです。」「村長さんの佐渡は昔からいろんな人を受け入れてきた…遠い世界から来た人も受け入れよう…が印象的でした。」「今の時代、戦争をおこしてはいけないと改めて深く心に刻めました。」「まだまだ知らない映画があるのですね、これからも良質な映画をたくさん上映してください」「ひまわり」では、「戦争の悲惨さを思い、涙が止まらなかった。よく取り上げてくださってうれしいです」「ひまわりの曲は、一番好きな映画音楽です。40年くらい前、たまたまテレビで放映したのを見て以来です。全編を見に来ました。」「心穏やかに暮らせる世の中になってほしいです。ウクライナにも心が痛みます。」「ウクライナの戦争が一日も早く終わることを映画を見て強く思います。」と、どのアンケートも「とてもよかった」と好評でした。

なかなか会員が増えないのが悩みですが、少しでも安くして良質な作品を探しつつ、例会を重ねていきたいものです。

9/23～25、岡山市内で映画大学が開催されました。加古川シネマクラブからは3名が参加しました。

12/24(土)16:00から忘年会(ケーキセット)を兼ねた今年最後の運営委員会を開きます。映画の話を聞いてみたい方、語りた方、運営委員会をのぞいてみたい方などなたでも参加できます。場所は、北在家の喫茶「加古川珈琲」です。

さて、新型コロナウイルス感染の完全収束もまだ先がみえませんが、感染予防の対策を取りながら11月例会(12/1)を開催します。例会の参加にあたっては、①自宅で体温を測定 ②体調の悪い時は参加しない ③入館

時には手指の消毒、マスク着用 ④「3密」にならないようなるべく周囲の方と距離をおく のルールを守って、楽しく映画を楽しみましょう。

### 例会のお知らせ

#### 第120回例会

■名称／「MINAMATAーミナマター」

■日時／2022年12月1日(木)

1回目 PM 2:00～ 2回目 PM4:20～ 3回目 PM6:40～

■場所／加古川総合文化センター大会議室

(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きしていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから「例会参加券」をお受取りください。



#### 【例会作品データ】

■タイトル／MINAMATAーミナマター

■監督／アンドリュウ・レヴィタス

■出演／ジョニー・デップ、真田広之、國村隼、美波、加瀬亮、浅野忠信、岩瀬晶子、ビル・ナイ

■データ／2020年、アメリカ、115分

■ジャンル／伝記、公害問題、ヒューマンドラマ

■ストーリー・解説／1971年、ニューヨーク。アメリカを代表する写真家の一人と称えられたユージン・スミスは、今では酒に溺れ荒んだ生活を送っていた。そんな時、アイリーンと名乗る女性から、熊本県水俣市にあるチッソ工場が海に流す有害物質によって苦しむ人々を撮影してほしいと頼まれる。水銀に冒され歩くことも話すことも出来ない子供たち、激化する抗議運動、それを力で押さえつける工場側。そんな光景に驚きながらも冷静にシャッターを切り続けるユージンだったが、ある事がきっかけで自身も危険な反撃にあう。追い詰められたユージンは、水俣病と共に生きる人々にある提案をし、彼自身の人生と世界を変える写真を撮る――

### 私の映画KAN「ジョジョ・ラビット」

ユーネクスト配信映画で『ジョジョ・ラビット』(2019年、アメリカ、108分)を自宅で一人で観ました(家では一人に限ります)。去年、パルシネマで上映していたのですが観に行けなくて、心に残っていたのです。タイトルは10歳のヒトラーを崇拝する男の子の名前です。舞台は敗戦間近のドイツです。お父さんは出征中(と聞かされて)で、母親(スカーレット・ヨハンソンが適役だった)と2人暮らしの中、屋根裏部屋にユダヤ人の女の子がいることを知り……。空想の世界で会うヒトラーと、生身の人間の少女との交流でジョジョの中で変化が……。街に連合軍がやってきてドイツ軍は惨敗。

銃撃、爆弾によって目の当たりにする死。愛らしい主人公、ユーモラスな脚本とロケーションの影響か、絵本のような印象を残す映画でした。作中、少女の元恋人がリルケが好きで、リルケの母親はユダヤ人と教えられて驚くジョジョの小さな場面があります。そして映画のラストにリルケの詩の一篇が流れます。【すべてを経験せよ 美も恐怖も 生き続けよ 絶望が最後ではない】後で調べたら監督は45歳ニュージーランドの俳優出身で、この作品では監督、脚本。ヒトラー役として出演もしていました。

トロント国際映画祭観客賞(最高賞)受賞作品です。年齢で線引きするのは好きではないですが、子供たちにお薦めの映画です。(せん)

### 前回の例会報告

8月31日(水)の9月特別例会は、兵庫県映画センターの平和のための作品上映会に相乗りして、「ひまわり」

(1970年、イタリア、107分)と「飛べダコタ」(2013年、日本、109分)を鑑賞しました。

参加会員合わせて94名 一般合わせて160名 明石シネマクラブから合わせて3名。

### 明石シネマクラブ例会情報

#### 第74回例会

■名称／『ぼけますから、よろしくお願ひします。』

(2018年、日本、102分)

■監督／信友直子

■出演者／信友直子の  
父母、信友直子

■ジャンル／ヒュー  
マン、ドキュメンタ  
リー

■解説／TVディレク  
ターの女性が、娘  
である「私」の視  
点から、認知症の  
患者を抱えた家族

の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。

■日時／12月15日(木)①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所／アスピア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662 (金沢まで)

### ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

#### 加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 079-425-4499 ※

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://kagogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

※ファクシミリの番号が変わっています。

会員数 125人(8月31日現在)

